

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



5/13 地域の安心・安全を支えるボランティア

「民生委員・児童委員の日」である5月12日にあわせて、市民広場で活動強化週間出発式が行われました。

民生委員・児童委員は、朝のあいさつ運動や環境美化活動、生活に関するさまざまな相談に応じ、地域住民が必要な支援を受けられるよう、行政と地域のつなぎ役を担っています。この日、集まった皆さんは「民生委員児童委員信条」を再確認し、より良い地域づくりを目指すことを改めて決意しました。

また、松本市長も一日民生委員として、牧港に住んでいる内間清有さん(80歳)と西原に住んでいる石川トヨさん(100歳)の自宅を訪問し、会話や交流を通して、見守り活動を行いました。



5/17 仲間と共に。シニア世代の新たな学び

第36期生でだこ学園大学院49人の入学式が中央公民館で行われました。でだこ学園大学院は、60歳以上を対象にシニアの新たな学びと「仲間づくり」「生きがいづくり」を通して、地域活動の担い手を養成します。

仲宗根学院長は「新たなでだこ学園大学院生としての自覚と誇りをもって、学園生活を送っていただきたい」と新入生へ激励の言葉を送りました。また、入学生を代表して、与那覇明さんは「この36期生、49人と共に、でだこ学園大学院のカリキュラムを通して、歴史、文化、芸能の分野について元気に学んでいきたい」と、これから始まる学校生活への期待を胸にあいさつを述べました。



4/25 地域のために貢献した人々を表彰

市では「自然愛」「人間愛」「遵法・公德心」「勤労・健康」「平和・文化」の5部門からなる市民憲章を制定し、実践しています。

令和6年度浦添市民憲章実践者の表彰式が市役所9階講堂で行われ、地域の模範となる素晴らしい取り組みを行った個人24人と4団体に表彰状が贈られました。

受賞者代表あいさつで、長年浦西自治会内の環境整備に貢献した平識善貞さんが「このような素晴らしい賞を受賞することができ、大変光栄に思います。これからもこの栄誉を励みに、住みたいまち、住んで良かったまちと言われるまちづくりを目指して活動していきたい」と意気込みを述べました。



5/10 人々の幸せを願い陰の力となって奉仕する。

「人間を救うのは、人間だ。」をスローガンに、明るく住みよい地域づくりのため、市と連携して災害救護、街頭募金活動などの多くのボランティアを実施している日本赤十字社の「浦添市赤十字奉仕団会費募集出発式」が、市民広場で行われました。

毎年5月は赤十字運動月間となり、団員たちは市内企業を訪問しながら、赤十字活動への協力を呼び掛けます。浦添市赤十字奉仕団の宮里時子委員長は「人道は愛の道、奉仕の道、奉仕の道は愛の道、人の道を忘れずに、地域活動に寄与していきます」と意気込みを述べました。集まった会費や募金は、国内外での支援活動のために役立てられます。



4/18 琉球コラソンのホームタウンに

市と株式会社琉球コラソンが「ホームタウン連携・協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、令和8年度に完成予定の新体育館で、県内で行われる琉球コラソン公式戦の8割を開催することや、市のスポーツ振興および経済の活性化を目指して、相互に活動の充実を図ることを目的としています。

松本市長は「公式に浦添がホームタウンとなり、お互いにハンドボールの魅力やコラソンの活躍を発信していきましょう」と述べ、代表取締役CEOの水野裕矢さんは「新しい体育館ができた際には多くのお客さんに見に来てほしい。そのためにも良い成績を残していきたい」と意欲を述べました。



4/20 “地球の日”みんなで環境を守ろう

4月22日のアースデイ(地球環境について考え、感謝する日)に合わせ、浦添の西海岸・里浜を清掃する「アースデイ2024inうらそえ」が開催されました。

親子や友人、企業、学生、NPO団体の皆さんが市内外から約100人参加し、パルコシティ前やカーミージー付近、海岸沿いを1時間半ほど清掃しました。

お母さんとイベントに参加した比嘉禮健くん(小4)は、「小学3年生のときに海の環境について勉強してから、ずっとビーチクリーンがやりたかった。実際に参加してみて、まさかこんなにゴミがたくさんあるとは思わなかった。海の環境を守るためにビーチクリーンをまたやりたい」と想いを語ってくれました。



4/17 自分らしさを、沖縄から世界へ発信!

チャレンジし続けるカッコイイ女性たちの生き方の祭典「Mrs of the Year 2024 世界大会」に出場する小禄蘭さんが市長を表敬しました。

4児の母である小禄さんは、「私が勇気を持って行動することで、浦添市のママや世界のママたちに、諦めなくてもいいことを伝えたい。ママたちの等身大モデルになるような発信をして、世界大会ではグランプリを取りたい」と意気込みを語りました。6月26日～29日に開催される世界大会に向け、日々レッスンに励んでいる小禄さんへ、松本市長は「母である小禄さんが挑戦する姿その生きざま、想いを多くの女性へ伝えられるよう頑張ってください」と激励の言葉を送りました。